



# くまがい市議、予算で大綱質問

## ロシアはウクライナ侵略を直ちに止めよ!

### 南空知憲法共同センター 緊急街頭宣伝行動!



3月19日(土)栗山・由仁・長沼で、南空知憲法共同センターが「ロシアはウクライナ侵略を直ちに止めよ」緊急街頭宣伝を行いました。

共同センター細野悦子代表が「ロシア政府による軍事侵略は、ウクライナの主権と領土を侵すものであり、明白な国連憲章、国際法に違反するもので絶対に許されません」と訴えました。

共同センターは、憲法9条改悪を許さず、9条を生かした平和外交を我が国の信条とすることを求めています。

安倍・菅政権から岸田政権へと変わりましたが、コロナ渦を理由に緊急事態条項を創設する改憲を考えています。

参加した南幌の木村賢治さんは、「今必要なのは、いのちをまもるコロナ対策であり、中小企業や困窮者への支援と給付

### ★官制ワーキングプアの見直しを ★都市公園再編で風致公園再開を



※18日に開催された第1回定例議会においてくまがい市議の質問した概要をお知らせします。

#### 1. 地域活性化企業人について

**質問** 地域活性化企業人について、昨年までの実績と、今年の採用人数・予算・どのような成果を期待しているのか。必要経費は特別交付税措置の対象となるとのことだが、本市の経費負担は全くないのか。

**答弁** H29.～R3.3まで、観光面での宿泊・企画・提案などをしていただいた。R4年度は1名を予定しており地元製品の販路拡大や、地元企業の経営支援・連携支援を期待している。市の負担はない。

**意見** 地域の活性化に向けて幅広い活動を期待する。

#### 2. 高齢者・障がい者・要援護者にやさしいまちづくりについて

**質問** 具体的に、やさしい街づくりとはどのような構想で、組織体制や人員確保はどのように考えているのか。

**答弁** それぞれのニーズに対応した、きめ細かな対応をで、コロナ禍の中で、生活困窮者、子育て、各種の見守りや支えあいの支援をしていく。効率化のため、入札を経て外注していく。

**質問** 予算の中には外部への委託料が含まれているが、そのうち人件費の相当額はどのような考えで積算されているのか。

**答弁** 「不当に高額ではなく、法に触れるほど低額ではない」という基準で積算している。

**意見** 委託先では、委託を受けて非正規で働く人たちの賃金が非常に安く1～2年で辞めていく人が多いと聞く。事業コストも大事だが、それより今夕張で大切なことは、市内で職を得て、働き続けてくれる労働人口、定住人口を増やすことが喫緊の課題。市の職員給与の改善は当然大事だが、市の仕事にかかわる非正規の職員、市から委託されて市の政策を担って働く、重要な不可欠な存在である、非正規職員の皆さんが安心して長期にわたって働き続けられる待遇が必要。そのことが市内の賃金の底上げにもつながり、ひいては定住人口の増加にもつながる。今後、是非とも検討していただきたい。

「力の論理」でなく  
「外交努力」をかき  
「憲法9条」をかき  
「力」をかき



です」と述べ、「改憲の目的の一つは、緊急事態条項創設で、国会の関与なく政府の権限で私権制限などを自由に決められるものです」と続けました。

栗山・由仁・長沼の3町では、毎月19



日、「安保健法をなくす栗山町民の会」「ゆ

尊重と平和を守る長沼町民の会」が定期的に街頭宣伝を行っています。

この日は、共同センターと一緒に、ロシアの軍事侵略を非難しました。

夕張からは、明日の平和をつくりだす夕張の会の熊谷泰昌さんが「私たちの会は、7年前の戦争法強行採決の際にできた会です。こどもた

### 3. 都市公園等再編計画について

**質問** この再編計画の目的は。

**答弁** 市の都市公園は制定されて数十年が経過し、現在15の都市公園、5か所の児童公園、15の遊び場があるが、量から質への転換を図り、将来の都市機能を考えていきたい。

**質問** 滝の上公園、丁末風致公園も再編対象か。

**答弁** 今後の課題としてニーズを検討していく。

**意見** 滝の上公園は当然だが、現在ほとんどが閉鎖されている丁末風致公園は、広大な自然の中で、子どもたちが駆けまわったり、コロナ禍の中でも人気のあるキャンプもできる。市長の本会議での答弁の通り、道の駅からまちの周遊を促すシューバ口湖の湖面活用とともに、自然活用の体験観光・交流人口の増加のためにも、5年後の財政再生団体卒業に向けて、ぜひ再開に向けて検討していただきたい。

ちや孫たちに、平和で一人一人の権利が守られる社会を残すことが、私たち年配者の役目です。新しい憲法改悪を許さない全国署名に協力ください」と訴えました。

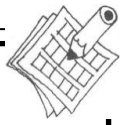
共同センターはこれまで岩見沢・美唄で緊急街頭宣伝を行いました。

夕張では、憲法共同センターの緊急街頭宣伝は25日(金)、

新日本の婦人会では26日(土)、いづれも、午後1時半よりコープサツポロ夕張店前で実施。

前号1面記事訂正  
1段目見出し  
【本町梅街通り】を  
キネマ街道に  
3段目キャプション  
【清水沢墓園】を  
夕張市葬斎苑に  
それぞれ訂正し、  
お詫びいたします。

## くずさんの 夕張歴史散歩(175)



### 石炭のはなし(改題)

産業遺産として大切な石炭模擬坑の火災事故にあたって、この「夕張歴史散歩」も今まで「石炭博物館模擬坑の火災」と題して述べ、その再開までの間「番外編」としてつないできました。

### 再開はいつ頃

2022年の夕張市予算案によれば、模擬坑復旧費として22・23年度で6億1500万円を当て23年度中に再開をめざすとなっています。だいぶ先になりそうです。

本編も番外編として、炭鉱の技術とか採炭方法とかに話が飛び、運搬から鉄道にまで至りました。そこで表題を「石炭の話」と改題し、模擬坑の一日も早い再開を待ちたいと思います。

### 二代目の夕張駅(夕張駅の変遷つづき)

1892年(明治25)初代の夕張駅から一番石炭貨車が、義経号に牽引され発車します。

いよいよ燃える石から黒いダイヤモンドへの変身です。それから百年もたためのに、いわゆる「炭鉱合理化」攻撃がすすみ、夕張の主力炭鉱は北のはずれから清水沢方面に移ります。1980年代の事です。

炭鉱用地内に位置した夕張駅も、石炭輸送は激減します。また炭鉱の繁栄期に栄えた本町商店街も、駅を軸にした街づくりをめざし、夕張駅の移転を要望します。

### 旧市民会館裏に

移転場所をめぐる種々論議された末に、1985年(昭和60)旧市民会館の裏手に、客車二両を連結させて改造した駅舎を建設、二代目の夕張駅になったのです。



紙智子「国会かけある記」  
参議院議員  
紙智子

### 攻撃はねのけてたたかう

春の訪れが遅い北海道。19日、悪天候のなか北見市に向かいました。東京を出るときに「安全に降りられない場合は羽田空港に引き返すこともありま

す」とのアナウンス。心配しましたが、無事に女満別空港に着陸できて、ほっとしました。

低気圧の影響で20日の北見市議選挙の告示日は、雪が降り続く中で行なわれませんでした。定数26に31人がしのぎを削る激戦です。

9期目に挑戦する日本共産党の菊池豪一さんと2期目に挑戦する桜井ゆみこさんは、どちらも二十代の頃から活動してきた仲間です。昨年、病気で亡くなった熊谷裕市議への思いを含め勝利しようと、選挙事務所には早朝から結集して、掲示板へのポスター貼りや、チラシへの証紙貼り、第一声に向けて支部と後援会のみなさんの力が入り、私も気合をもらいました。

北見市議会では、日本共産党市議団がロシアによるウクライナへの武力侵略に非難決議をあげようと他の会派に働きかけ、全会派一致で上げることができたと聞きました。党創立から100年(1世紀)反戦平和つらぬく党の値打ち、リーダーシップが光ります。

ロシアの侵略戦争にかこつけて、岸田文雄首相は敵基地攻撃能力を、安倍元首相や維新の会は核共有論なるものを声高に叫んでいます。ソ連が崩壊して30年経つのに、いまだに「ロシアって共産党？」という大きな誤解もあります。参議院選挙の前哨戦となる各地の中間選挙で、これらの攻撃をはねのけ、誤解を解消し戦う決意を新たにしました。